



本校 <http://www.akitahokuyou-h.akita-pref.ed.jp/>

SSH <https://ssh.jst.go.jp/>

<マレーシア研修(科学部)>

2018年7月18日(水)~26日(木)にかけて科学部ESD班を含む4名がマレーシアサバ州コタキナバル市へ赴きました。ESD班が構築した環境教育ワークショップを現地の中~高校生を対象に実施すること及び、その実施効果を測定することを目的としました。

期間中、4つの学校と1つの社会人向けセミナーで環境教育プログラムを実施し、対象者は200名を超える大掛かりなものとなりました。マレーシア自体が親日国ということもあり、プログラム後に記念撮影やサイン攻めにあうという経験も。帰国後は、データ集計・解析を行い、研究成果として各方面での発表が期待されます。

この他に、泥炭林保護区とプランテーションの境界での自然観察、ごみの最終処分場(埋め立て地)視察等を行いました。この内、ごみの最終処分場では、自分より幼い子が働いている姿等を目の当たりにし、改めて「日本人で良かった」という感覚をもった生徒もいました。また、図鑑でしか見たことがない植物を観て興奮した生徒もあり、帰国後の学習や進路を考える際に大いに参考になり得る研修にもなりました。

※本研修は、一般社団法人あきた地球環境会議(秋田市)の事業を活用して実施されました。

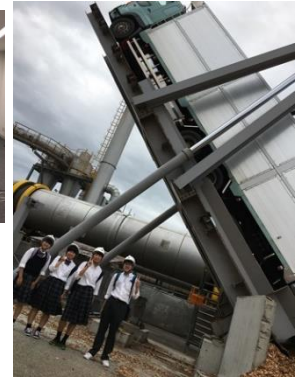


<再エネ施設見学に行ってきました!>

2018年8月7日(火)に、2年A組の課題研究班が、秋田市内の再生可能エネルギー施設の見学に行ってきました。この班は、再生可能エネルギーの内、『バイオマス』に注目して研究を進めようとしています。

今回の視察では、秋田市内位で事業を展開する以下の事業者の施設を見学し、発電原理からオペレーション、設備等の説明を受けてきました。

- (株)ナチュラルエネジージャパン
→ バイオガス発電(760kW)
→ 原料: 事業系生ごみ
- ユナイテッドリニューアブルエナジー(株)
→ 木質バイオマス発電(20,000kW)
→ 県内の間伐材、インドネシア産ヤシ殻



『バイオマス』と言っても、原材料や熱の回収方法によって様々です。今回の成果を基に、何を原料として、どのように熱を回収しようとするのかを決定し、このような大きなプラントでの利用を視野に入れた研究を進めていってほしいと思います。

※両施設の見学は「あきた次世代エネルギーパーク」事業を活用しました。

<SSH担当職員の紹介>

東海林 拓郎(しょうじ たくろう)

- 担当教科: 理科(生物)
- 部活動: 科学部



【担当者からひとこと!】

SSHの指定を受けているメリットを、最大限生かせるような活動を展開したいです。そして、来年度もSSHの指定を受けられるようにがんばるぞー!

